

# 研究部だより



平成 27 年 10 月

事務職員会 研究部

急に寒くなり、風の冷たさや日の入りの早さに秋を実感する季節になりました。

早いもので、今年度も半分を過ぎようとしています。8月の全体会を思い返し、共同実施会でさらに深めて、年度後半へとつなげていただければと思います。

**8月11日に事務職員会全体会がありました！皆様ご参加ありがとうございました！**

## ～ 研究部からの基調提案 ～



昨年度、事務職員会のグランドデザインが策定されました。

このグランドデザインによって、「子どもの豊かな育ち」を学校事務職員のミッションと捉え、共同実施会は実践、教育センターは研修、事務職員会は研究と、役割が明確にされつつ、それらが連携して子どもの豊かな育ちを実現する構図が示されました。また、学校を取り巻く社会全般を視野に入れることにより、学校事務の概念を教育事務へと発展させる内容が盛り込まれました。

研究部では、このグランドデザインの実行策として、今後5年間の活動プランを作成しました。今年度はその初年度として「学校事務職員の専門性と役割」をテーマに取り組めます。

専門性と役割について皆で共通理解を図り、教員とは異なる角度から教育を担い、共に考え、創っていきましょう。



## ～ 磐田市立城山中学校 横山統括事務主幹 講話 ～

ご自身の採用からを振り返りつつ、チーム学校をよりよくつくるにはゴールを全員が理解し、計画と任務遂行に全員が寄与することが必要で、事務職員もいかに学校の中で有意義で存在感をあげるかが重要、というお話をいただきました。

学校で起こるあらゆる事柄について、事務職員の視点で考え、気づいたことを発信し、いろいろな職種の職員と話をしたり、相談したりすることが大切だと感じる講話でした。

## ～ シンポジウム ～



参加者全員がシンポジストということで、S29年の事務研究会発足から歴史をたどりながらのシンポジウムとなりました。まず初めに、「採用前、学校事務職員ってどのような仕事をしていると思った？」という質問には、新採・ベテランともに、「仕事のイメージがわからなかった。」と同じような思いをもっていたようです。過去の全国大会、東海大会やコスモスプランなどに携わってこられた先輩方の当時の思いを聞くことができ、自分たちの思いを表に出していくことが、変革のきっかけになってきたという歴史を知りました。また、学校事務の考えも、「職務の明確化・効率化」という願いから、「子どもたちのために」という思いに変わってきたこともわかりました。

H29の権限委譲など今後の学校事務について不安な思いはありますが、「大切なのは『自分たちはこうしたい』という思い(＝グランドデザイン)を伝えていくこと。」「各種大会などに参加して、外から静岡市を見してみる(＝俯瞰する)こと。」「グランドデザインの活動プランを共同実施の活動計画に盛り込んでいこう。」というお話を聞いて、改めて私たちのやるべきことを考えさせられるシンポジウムとなりました。

## ～ 8月11日の分散会について ～

分散会シートに記入していただきありがとうございました。

記入していただいた内容を経験年代別に一部ご紹介させていただきます。

- 経験0～10年未満 →Ⅰ      経験10～20年未満 →Ⅱ  
経験20～30年未満 →Ⅲ      経験30年以上 →Ⅳ



### 全体会前 「学校事務職員って何する人なの？」と質問されたらどう答えますか？

- Ⅰ 職員として教育活動に関わる、学校運営に関わる、環境作り
- Ⅱ 授業以外の全ての仕事を行う、学校全体の窓口、学校環境を整える
- Ⅲ 学校を支えている、一般企業の総務、何でもやる
- Ⅳ 学校の教育環境管理、学校運営の基盤となる業務全般、安全管理

### 分散会 仕事を振り返り、専門性・役割を生かした取り組みを挙げてみましょう。

- Ⅰ 事務便り発行、適正な事務処理、人間関係を生かしたチーム作り
- Ⅱ 職員会議での説明や情報提供、予算を計画運用、全職員での予算執行
- Ⅲ 総務会で発信、各事業の予算の流れなど事務の視点で発信
- Ⅳ 行政的視点にたった取り組み、共同実施として支部内・学校に助言  
学校経営での校長の補佐役



### 分散会 どんな取り組みをしたいか話し合みましょう。

- Ⅰ 予算執行報告による有効活用、学校全体の予算把握・執行  
教職員とのコミュニケーション、校長の判断材料提示
- Ⅱ 知識を増やす、事務の目線で経営参画、物品の整理表作成、  
予算状況の比較、学校内だけでなく学校外への情報発信
- Ⅲ 職場の雰囲気作り、行事等に企画立案から積極的に関わる  
共同実施を通して学校外へ向け行政機関として対応
- Ⅳ 人と人との「関係性」を中心とした組織運営、学校間連携  
新しい共同実施のあり方を考えることも重要、  
学校事務の効率化・簡素化、教育の質を高めるための研究継続

経験を重ねるにつれ、特に他職種との協働、共同実施、市全体をみて組織を意識したご意見を交わしていただいていると感じます。多くのご意見から、みなさんの仕事への思いが溢れていました。  
ありがとうございました！

## ～ 10月共同実施会 分散会振り返りについて～

分散会で行ったように、今度は支部で経験年数などが違う事務職員同士、行っている取り組みを「専門性と役割」について意識しながら話し合ってください。

### ～ 振り返りの手順 ～

- ① 8月全体会について、分散会シートや研究部だよりをもとに感想や、そのとき出た取り組みについて各自2分ずつ話してください。
- ② 各自や支部で取り組んでいることの中で、「専門性と役割」を意識することで考え方や取り組み姿勢が変わってきたことを挙げてください。これから取り組みたいことでもよいです。
- ③ 共同実施会用のシートを記入し、提出してください。取り組みはいくつでもご記入ください。

